



南種子町立 長谷小学校

児童数 24 人
学級数 3 クラス



《テーマ》 違いを認め、自分も周りの人も大切にできる児童を育てる指導の工夫
～小規模校・複式学級における指導を通して～

研究に当たって（テーマ設定の理由）	研究の実際
<p>アンケートの結果、自分に自信がない児童や自分の良いところが見つけれない児童が多いということが分かった。また、集団生活の中では、言葉遣いが悪くなったり友達の間違いを厳しく指摘したりする場面が見られる。本校は山村留学生を受け入れており、全校児童の約3割が毎年入れ替わるため、人間関係づくりの難しさなどの課題がある。このような実態から、自己肯定感や自己有用感を高めるとともに、自他を大切にできる児童の育成が重要だと考えた。自分とは考え方が違う友達を認めたり、認められたりすることでよりよい人間関係を築いてほしいと願い、本校の研究主題を設定した。</p>	<p>5月22日（月）（オンライン） 【職員】「みんなで進める人権教育」 ○ Momやチーム学校として取り組む人権教育やその視点に立った道徳の授業づくりの研 10月23日（月） 【職員】「道徳の授業参観・授業研究」 ○ 1・2年生の道徳「ぼくはいかない」の授業参観と役割演技や発問の仕方についての指導助言 12月5日（火） 【児童】「人権集会」 ○ 子どもの人権について考える集会活動 【職員】「同和問題についての職員研修」 ○ 人権教育研修資料を活用した研修</p>

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

<p><input type="checkbox"/> 青少年赤十字活動 「気づき・考え・実行する」を合い言葉に、自分のためだけでなく、友達や学校・地域のためにボランティアの輪を広げることができた。</p> <p><input type="checkbox"/> 人権の花 ひまわりの活用 広大な敷地を利用して一人一鉢や学級園など様々な場所にひまわりを植えた。植えるだけでなく花言葉や豆知識も掲示して、人権への意識を高めた。</p> <p><input type="checkbox"/> 人権意識を高める活動や掲示 学級活動や健康教室で自分のいいところや友達のいいところを書き出したり、お互いにコメントを書き合ったりして、交流したあと書いたものを全員分掲示した。</p> <p><input type="checkbox"/> 様々な人権教室 「スマホ・ケータイ安全教室」や弁護士によるいじめ防止の授業、そして人権擁護委員による人権教室など、立場の異なるいろいろな方から人権の大切さや気を付けたいことを学ぶことができた。</p>	 <p>【朝のボランティア】</p>  <p>【弁護士によるいじめ防止授業】</p>
---	--

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

<p><input type="checkbox"/> 「人権教育は全ての教育の基本である」ということから、どの学級でも友達の話をしっかり聞くようになる雰囲気ができ、自分の意見を堂々と発表できる児童も増えた。</p> <p><input type="checkbox"/> 学校全体で人権意識を高める方法や人権同和教育に関する知識・様々な人権問題の実情など教師自身が考えることで、自分の人権意識を高め、それを子どもたちに波及させることができた。</p> <p><input type="checkbox"/> 本プロジェクトの成果として、子どもや職員が人権の大切さや人権に守られていることを再認識できた。自他を大切にしようという意識を今後も継続させ、様々な教育活動に生かしたい。今後は、この活動を家庭や地域にも広げ、学校・家庭・地域が一体となった人権教育に努めたい。</p>
